

(19) 日本国特許庁(JP)

## (12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2016-146823

(P2016-146823A)

(43) 公開日 平成28年8月18日(2016.8.18)

(51) Int.Cl.

**C 12 N 5/073 (2010.01)**  
**C 12 N 15/873 (2010.01)**

F 1

C 12 N 5/073  
C 12 N 15/00

テーマコード(参考)

4 B 0 2 4  
4 B 0 6 5

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2016-15011 (P2016-15011)  
 (22) 出願日 平成28年1月29日 (2016.1.29)  
 (31) 優先権主張番号 特願2015-24211 (P2015-24211)  
 (32) 優先日 平成27年2月10日 (2015.2.10)  
 (33) 優先権主張国 日本国 (JP)

(71) 出願人 306024148  
 公立大学法人秋田県立大学  
 秋田県秋田市下新城中野字街道端西241  
 -438  
 (74) 代理人 100097113  
 弁理士 堀 城之  
 (74) 代理人 100162363  
 弁理士 前島 幸彦  
 (74) 代理人 100194146  
 弁理士 長谷川 明  
 (74) 代理人 100194283  
 弁理士 村上 大勇  
 (74) 代理人 100141324  
 弁理士 小河 卓

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 哺乳動物の胚処理方法及び胚

## (57) 【要約】

【課題】品質が高い哺乳動物の胚を作出する哺乳動物の胚処理方法を提供する。

## 【解決手段】

哺乳動物 (Mammalia) の胚に対して、近赤外光を照射する。胚は、8細胞期になった以降に照射する。この際、近赤外光を、胚を培養する培養ディッシュの底面から、出力0.1mW~20mWで、培養ディッシュの表面から照射部を1mm程度話して、0.5分以上照射する。この近赤外光の波長は、700nm~1400nmであることが好ましい。

## 【選択図】図1

